

中期経営計画

(令和4年度～令和8年度)

～地域から親しまれ信頼される鉄道を目指して～

令和7年3月改訂



愛知環状鉄道株式会社

1 現状と課題

(現状)

前中期経営計画(平成29年度～令和3年度)

- 輸送状況 R1:約1,883万人
- IC乗車券の導入、三河豊田駅ホーム改良 等
- 鉄道施設、設備の老朽化対策の計画的な実施

新型コロナウイルス
感染拡大を契機とした
テレワークの定着など

- 輸送状況 R2:約1,312万人、R6見込:約1,715万人
- 当社の資産は建設から40年以上経過し老朽化が進行しており、適切に更新・修繕して健全な状態を維持していく必要がある

1 現状と課題

(課題)

- 新型コロナウイルス感染拡大を契機として当社を取り巻く経営環境が大きく変化
- その中にあっても、地域の経済・社会活動を支える公共交通機関として、安全・安定輸送を堅持しつつ、鉄道施設・設備の老朽化対策を着実に実施

現行輸送体制を維持する前提で、課題に対応しつつ、鉄道事業を継続できるよう中期経営計画を策定

計画の対策を着実に実施するほか、アフターコロナの利用者動向を見据えた抜本的な経営改善に向けた取組を実施することとし、計画期間中に必要な見直しを行う

2 基本方針

～地域から親しまれ安全で信頼される鉄道を目指す～

- 「お客様の安全はすべてに優先する」の安全方針のもと、引き続き、安全・安定輸送を確保し、沿線の各都市を結ぶ鉄道としての使命を果たす
- 施設整備の老朽化等への的確に対応するとともに、鉄道利用促進に取り組み、経営の健全化に努める

3 愛環の目指す姿

(1) 安全で信頼される鉄道

- お客様から親しまれ、安全で信頼される鉄道であり続けるため、社員一人ひとりが安全を最優先に業務に取り組むとともに、鉄道施設・設備の健全性を確保する

(2) 便利な鉄道

- 通勤・通学利用を始め、日常生活でのお出かけなど、様々な場面でご利用いただくお客様にとってより便利で利用しやすい鉄道となるよう取り組む

(3) 健全な鉄道

- 第三セクター会社として社会的な責務を果たすため、全社員が営業収入向上や経費節減に一層取り組み、経営の健全化に努める

4 重点テーマ

(1) 安全安定輸送の確保・・・安全で信頼される鉄道

ア 安全を支える人材の育成

- ・階層別研修を始め、各職場における訓練や業務研究などにより、専門的な知識・技能の向上や継承を図る
- ・ヒヤリハットやKY活動の取組を進め、安全に対する意識の向上を図る

イ 事故防止等安全対策の実施

- ・鉄道施設の安全に対して必要な修繕や設備投資の実施
- ・多客時におけるホームへの要員配置等による安全確保
- ・視覚障がいのあるお客様への誘導案内・見守り

ウ 老朽施設・設備の計画的更新及び改修

- ・電気設備や軌道設備の更新、車両の電子機器の交換
- ・コンクリート構造物の剥離やクラックなどの修繕
- ・国・県・沿線市からの補助金を有効に活用し、安全対策を確実に実施

4 重点テーマ

(1) 安全安定輸送の確保・・・安全で信頼される鉄道

エ 災害対策等の推進

- ・のり面改良工事の計画的実施や鉄道駅の耐震対策の検討
- ・警察や消防などの関係機関と連携した災害等発生時の対応訓練の実施

オ 新型コロナウイルス感染症対策の継続

- ・感染が再拡大し、社員に感染者や濃厚接触者が増加した場合においても、業務継続計画に基づき鉄道業務の継続に努める

4 重点テーマ

(2)お客様サービスの向上…便利な鉄道

ア 利便性の維持・向上

- ・新型コロナウイルス感染拡大を契機としたお客様の減少あっても、現行輸送体系を維持

イ 駅設備の改良

- ・バリアフリー法に基づくエレベーター、多機能トイレ設置の整備

ウ お客様視点に立った質の高いサービスの提供

- ・スマートフォンによるフリー乗車券の販売など、キャッシュレス決済の活用
- ・新豊田駅へのお客様問い合わせ窓口の集約化や忘れ物取扱所の移転

エ お客様への情報提供の強化

- ・ホームページのスマートフォン対応改修、SNSを活用した情報発信

オ 接客サービスの向上

- ・研修等による接客意識の向上

4 重点テーマ

(3) 鉄道利用促進の取組・・・健全な鉄道

ア 運輸収入の確保

(ア) 一般利用の促進

- ・大規模イベントにおけるイベント主催者と連携した鉄道利用の呼びかけ
- ・自社イベントの開催
- ・パーク&トレインによる利用促進
- ・企画乗車券の定期的な発売

(イ) 通勤・通学利用の促進

- ・定期券購入の価値を高めるための取組の検討
- ・コロナ収束後における沿線企業への通勤利用の呼びかけ

4 重点テーマ

(3) 鉄道利用促進の取組・・・健全な鉄道

(ウ) ジブリパーク開業等による新たな移動需要の取込み

- ・沿線市の観光所管課及び観光協会と連携した、愛環沿線の観光マップや観光モデルコースの作成、沿線近くの施設やお店で使えるクーポン付き企画乗車券の発売、沿線を周遊して楽しめるスタンプラリー企画の検討
- ・MaaSへの積極的な参加

イ 新たな移動需要の創出に向けた沿線関係団体との連携強化

- ・沿線関係団体との連携をより一層強化し、新たな移動需要の創出に努める

4 重点テーマ

(4) 健全な経営の確保・・・健全な鉄道

ア 収支改善の取組

(ア) 経費削減の取組

- ・設備更新及び修繕費について、令和3年度に見直した中長期設備更新・修繕計画を、施工時期や施工数量の更なる精査、効率的な施工などにより、経費の最小化に努めた
- ・旅客運賃改定後は、運賃改定による増収分を活用し、安全・安定輸送の確保に組み込む

(イ) 業務運営方法の見直し

- ・駅の組織の見直し

(ウ) 運輸外収入の確保

- ・高架下事業のより収益性を高める活用についての検討
- ・車両ラッピング(広告媒体)の積極的な売込み
- ・駅構内スペースの貸付けなど新たな収益確保策を検討

4 重点テーマ

(4) 健全な経営の確保・・・健全な鉄道

イ 人材の確保、育成及び登用

- ・社会的に人材不足が課題となる中、採用の幅を広げていくことや、労働条件、労働環境、福利厚生の改善を図り、人材確保に努める
- ・知識、技術等の蓄積、継承を行うため教育研修機会を確保
- ・計画的な採用によるバランスの取れた社員構成の維持
- ・障がい者雇用の促進、女性の職業生活における活躍推進

ウ 適切な組織・人事管理

- ・社員のモチベーションや職場内のコミュニケーションの向上
- ・所定外労働の削減等による仕事と家庭との両立支援

エ コンプライアンスの徹底

オ 地域貢献と地域活性化

カ 株主対応

5 経営目標

(1) 利用者数の想定

最終年度(令和8年度)における利用者数想定: 令和元年度比約92%

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後においては、社会経済活動の回復に伴い、令和6年度は令和元年度と比べて約91%まで回復する見込み
- ・今後においても、テレワークの定着や少子高齢化による生産年齢人口の減少などにより、コロナ前の水準に戻らないことが見込まれる

(2) 設備更新及び修繕計画

安全安定輸送の基盤となる鉄道施設・設備の健全性維持のため計画的な工事の実施

事業の一部は、国・県・沿線市の補助を得て実施

5 経営目標

(3) 要員計画

厳しい経営状況を踏まえ、組織体制や業務運営方法の見直しなどにより、要員の削減を図った

今後は、社員の離職対策を講じ、安全・安定輸送に必要となる要員を確保する

(4) 収支見込み

最終年度(令和8年度)における運輸収入想定: 令和元年度比約104%

- ・令和7年3月の旅客運賃改定により、コロナ前の水準程度に回復
- ・営業収益の確保及び経費の削減等に努め、安全・安定輸送の確保に必要な設備更新や修繕には国・県・沿線市からの補助金を活用し、着実に取組を進めるとともに、収支改善及び累積赤字削減に努める

(5) 資金計画

収支改善等により、借入金の減少に努める

6 長期的な課題への対応

(1) 利用者数の展望

将来的(10年程度先以降)には、生産年齢人口の減少の影響が徐々に大きくなることにより、通勤・通学利用の更なる減少が危惧される

(2) 老朽施設・設備の計画的更新及び修繕

- ・老朽化の進行により、設備更新や修繕を継続して実施
- ・車両については、経年劣化が進むことから、長寿命化を図りつつ更新時期について検討
- ・駅のバリアフリー化や耐震工事については、本計画期間中に検討することとし、整備箇所が複数あり、引き続き対策に取り組む

6 長期的な課題への対応

(3) 沿線まちづくりの促進

利用者の更なる確保には沿線のまちづくりの進展が欠かせない重要な要素の一つであり、駅周辺での区画整理事業等により、まちづくりが促進されるよう関係機関に働きかける

(4) 自立した会社経営

- ・自立した会社経営の実現は長期的な課題
- ・ウィズコロナ・アフターコロナでの経営環境においても、安定的な事業運営ができるよう、継続して経営改善に取り組む

この資料に記載されている計画、見込みなどの情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、不確実性を含んだものです。実際には、様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知願います。